

行事のご報告

春の全体旅行



6月28日、大型バスに乗り、32名で山梨県へ日帰り旅行に行ってきました。あいにくの雨の中、まずは山梨県立リニア見学センターに向かいます。近代的な建物に入り、1階で本物さながらのリニア試験車両の車両内を見学、2階ではミニリニアに乗車、3階ではリニアシアターにて時速500kmの感覚を体験しました。

遠くに見えているリニアモーターカーが試運転を始めるのを、今か今かと皆で待っていましたが、2時間の滞在中にリニアが走り出すことはありませんでした…。あ～、残念です。

お楽しみの昼食は西湖マ・メゾンです。色とりどりのお花を散りばめたおしゃれなサラダ、冷たいかぼちゃのスープ、メインはカサゴのバルサミコ酢ソース、デザートはパンナコッタでした。本格的なフルコースを堪能し、皆の顔も自然と笑顔になっていました。

午後のコースは河口湖大石公園のハーブフェスティバル(ラベンダー)とオルゴールの森です。天気が良ければ河口湖、ラベンダー、富士山が一緒に見られる絶景の公園です。ハーブフェスティバル開催中ということもあり、たくさんの方が遊びに来ていました。皆の思いが富士山に届いたのか…帰り際に少しだけ、富士山が顔を見せてくれました。雲の間から覗く富士山はとてとても高く、そして雄大でした。オルゴールの森では、バラのトンネルをくぐり抜けると、そこは異国情緒あふれる建物や庭園が広がっていました。石畳の小道を歩き広場を抜け、ヒストリーホールに入ると、ちょうど自動演奏楽器とオペラ歌手とのコンサートを開催しており、オルゴールとソプラノの美しい音色を楽しみました。

帰りは渋滞にも巻き込まれず、予定通りの時刻に、無事偕楽荘へ到着しました。楽しい思い出が、またひとつ増えました。

なないろ農園



今年の夏の野菜作りは、ご利用者の方と話し合った結果、ジャガイモとミニトマトの2種類を作る事になりました。

<じゃがいも>

4月下旬頃に、プランター4個の土作りとして堆肥や肥料を混ぜる作業とジャガイモ（男爵）の種を1/2にカットした物を植え付ける作業をご利用者2名と行ないました。

芽が出てからもご利用者の方がこまめに観察をし、間引きや花が咲く前の追肥、土寄せ作業を適宜行いました。プランターの土の乾き具合によっては、朝晩の水やりを行ないすくすくと成長しました。

ジャガイモの葉や、茎が枯れて来たらよいよ収穫の時期。職員とご利用者で収穫を行いました。小さな新じゃがが50個ほど収穫出来ました。

<ミニトマト>

6月の中旬頃に、大きいプランター2個を使って、ミニトマトの苗をを植えました。

7月中旬頃には ミニトマトの実がいくつか実り、ご利用者が収穫し試食。素朴なトマトの味わいを感じられていました。

8月に入り、梅雨のような天候が続き、花が咲いても中々受粉せずに枯れてきてしまうものもありました。

トマトの実が付いても赤く色づくのが遅く週に数個の収穫でしたが収穫作業を行ったご利用者で美味しく頂きました。

迎え火・送り火

7月の13日と16日に、迎え火・送り火を4階の正面玄関前にて行いました。

天に還った魂が1年に1度、お墓に帰ってきたあと、自宅に迷わず戻れるよう、目印の送り火を焚いてご先祖をお迎えするという風習です。ナスやきゅうりに木の棒(おがら等)を挿して、牛と馬に見立てますが、これはご先祖様が馬に乗って早く帰れるように、牛に乗ってゆっくり天国へ戻れるように、という意味があります。地域によって、馬にはご先祖様が乗り、牛にはたくさんの荷物(お土産)を乗せて行く、という意味もあるようです。

ご利用者の皆さまと一緒におがらを焚き、お線香をあげ、ご先祖様に感謝をし、亡くなった家族に想いを馳せました。



草大福作り

5月30日に、4月に皆さんと摘んできたヨモギを使って草大福作りを行ないました。

ご利用者の皆さんと職員で、大きくて、あんこのた〜っぷり入った、やわらかい草大福を作りました。3時のおやつ時間に、今回参加できなかったご利用者にも召し上がって頂きました。

ヨモギはキク科に分類され、キク科は最も進化した植物と言われています。代表的なキク科にヒマワリやコスモス、タンポポなどがあり、レタス、ゴボウなどもキク科に入ります。ヨモギはお灸のもぐさとして有名ですが、最近では、韓国式ヨモギ蒸しもブームになっています。また、ヨモギの香りに精神を癒すアロマ効果があり、ヨモギ枕なども販売されています。ヨモギは飲んでよし、付けてよし、嗅いでよし、浸かってよし、燃やしてよしの



中学生職場体験

職場体験とは生徒が体験したい職場を自ら選択し、実際に仕事を体験したり、働いている人から話を聞いたり、その職業に就くにはどんな勉強が必要なのかなどを学ぶことができる貴重な機会となっています。毎年、偕楽荘には八王子市の中学校三校の学生が職場体験にやってきます。



今回は八王子市立別所中学校より三人の女子生徒が偕楽荘に来ました。普段、高齢者とほとんど接することがないという学生たちは、当初は緊張した表情で職場体験を行なっていましたが、ご利用者と一緒に七夕の笹飾りやクラブ活動に参加することで徐々に緊張もほぐれ、笑顔が見られるようになりました。また、最終日にはご利用者の居室で、小さい頃の話や戦争の話などの貴重なお話を聞き、充実感に満ちた表情で職場体験を終えました。

今回の職場体験について感想を聞いてみると「楽しかった。」「もっと長くやりたかった。」「今回の職場体験で初めてトイレ掃除をしました。これからは家でも掃除の手伝いしようと思いました。」との話が聞けました。学生にとって、今回の体験が将来の夢へのきっかけや第一歩、また、良い経験の一つとなれば嬉しいと思っています。

納涼祭

7月27日に楽友会納涼祭が開催されました。

第一部は室内で行われ、見どころは松が谷高校和太鼓部による太鼓のアトラクション。体に響きわたる力強い太鼓の音、高校生の若さ溢れるパフォーマンスにご利用者も手に汗握り見入っていました。

第二部は屋外で行なわれ、たくさんのご利用者、ご家族、そして地域の方々に参加されました。

偕楽荘民踊クラブは、納涼祭の為に日頃から踊りの練習を重ねて来ました。当日はそろいの浴衣で練習の成果を発揮し、素敵な踊りを披露して下さいました。

模擬店も大変賑わい、焼き鳥を片手にビールを飲み最高の笑顔で踊りを楽しませているご利用者の姿もありました。

